

2050年度ネットゼロを目指して

→ エネルギー施策強化によるScope1・2排出量削減

お取引先様との協働によるScope3排出量削減

JFRグループが目指すサーキュラー・エコノミー

TCFD提言に沿った情報開示

エネルギー施策強化によるScope1・2排出量削減

JFRグループのScope1・2排出量のうち、電力の使用による排出量は約80%を占めています。これを踏まえ、当社グループでは、省エネルギーの徹底や計画的な再生可能エネルギー（以下、「再エネ」という。）の調達拡大等、電力に重点を置いたエネルギー施策の強化に取り組んでいます。

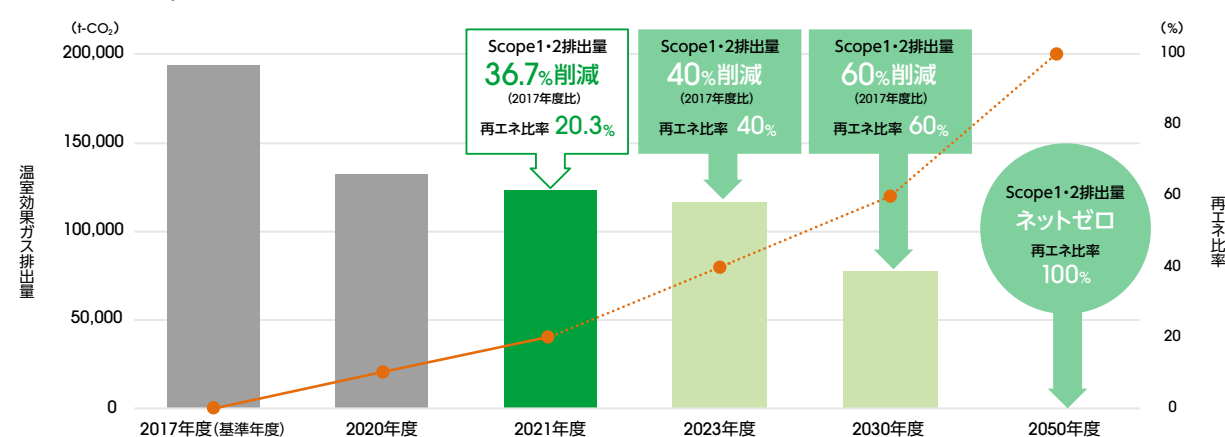
2021年度 Scope1・2排出量実績

2021年度Scope1・2排出量は、122,812t-CO₂となりました。2021年度の削減目標は、2020年度比で4.0%削減と設定していましたが、店舗の再エネ切り替え拡大や、LED照明への切り替えによる省エネ施策の徹底等により、

7.0%削減となりました。

また、SBT基準年度の2017年度比では36.7%削減となり、SBT達成（2030年度に2017年度比60%削減）に向けて順調に推移しています。

2021年度 Scope1・2排出量および再エネ比率



2021年度 JFRグループScope1・2排出量実績 (単位: t-CO₂、%)

	2021年度	2020年度比	2017年度比 (基準年度比)
Scope1・2排出量 合計	122,812	▲7.0	▲36.7
内訳			
Scope1排出量	14,004	16.9	▲12.8
Scope2排出量	108,808	▲9.4	▲38.9

創エネルギーによるレジリエンス強化

気候変動に起因する自然災害の増加、また不安定な社会情勢の中、再エネ電力の安定的な調達は重要なリスクであると考えられます。当社グループは、再エネ電力の調達において、電力メニューの切り替えに留まらず、多様な調達方

店舗における再エネ電力の拡大

当社グループは、再エネ電力で運営する店舗は店舗の環境価値を向上させ、環境課題に敏感なお取引先様やお客様からの支持獲得につながると考えています。

2021年度は、大丸京都店、大丸神戸店、大丸須磨店、松坂屋上野店、松坂屋高槻店、広島PARCO、福岡PARCO、PARCOya上野において、再エネ電力に切り替えました。その結果、当社グループの2021年度再エネ比率は20.3%となり、2020年度比で10.0%向上しました。

当社グループは、2020年度に「RE100 (100% Renewable Electricity) *」に加盟し、2050年度までに事業活動で使用する電力を100%再エネ電力にする目標を設定しました。

今後も、大丸松坂屋百貨店やパルコの店舗を中心に、再エネ電力への切り替えを強化し、RE100達成を目指します。



*2050年までに、事業活動で使用する電力を100%再エネで調達することを目標とする国際的イニシアチブ

法の中から自社の事業特性に適した方法を検討し、新たな再エネ電力の創出およびエネルギー源の多様化によるレジリエンス強化に取り組んでいきます。